

会 議 録

| | | | |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----|
| 会 議 名 | 令和4年度第3回文化財保護審議会 | | |
| 事 務 局 | 生涯学習課 文化財係 | | |
| 開 催 日 時 | 令和4年11月2日(水) 午前9時30分から10時15分 | | |
| 開 催 場 所 | 小金井市文化財センター学習室 | | |
| 出 席 委 員 | 二宮会長 伊藤委員 椎名委員 狐島委員 太田委員 | | |
| 欠 席 委 員 | 鈴木委員 | | |
| 事 務 局 員 | 関生涯学習課長 碓井文化財係長 高木主任(学芸員) | | |
| 傍 聴 の 可 否 | 可 | 傍 聴 者 数 | 0名 |
| 傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由 | | | |
| | <p>1 報 告</p> <p>(1) 文化財ウィーク主催事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 地域史講座「小金井のあけぼの：旧石器時代の野川流域」</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 企画展「梶家の絵図」及び梶家文書の寄託について</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 史跡めぐり「仙川の谷を見る歩く」</p> <p style="padding-left: 2em;">エ 文化財講演会「小金井桜の誕生」</p> <p>(2) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について</p> <p>(3) 名勝小金井(サクラ)指定100周年記念事業に向けて</p> <p>(4) No. 22 遺跡現場見学会について</p> <p>2 その他</p> <p>3 次回以降の会議日程</p> | | |

会 議 結 果

関生涯学習課長 皆さんおはようございます。お忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和4年度第3回文化財保護審議会を開催いたします。

本日は鈴木委員よりご欠席の連絡をいただいております。

ここからの議事進行につきましては二宮会長にお願いしたいと思います。会長、よろしく願いいたします。

二 宮 会 長 おはようございます。引き続き、新型コロナウイルス感染症に十分留意して進めていきたいと思っております。

1 報告事項

(1) 文化財ウィーク主催事業について

二 宮 会 長 それでは、報告事項が4点ありますので、順番に進めていきたいと思っております。

では、「(1) 令和4年度文化財ウィーク主催事業について」につきまして、事務局よりご報告をお願いします。

高木主任(学芸員) 文化財ウィーク主催事業について、ご説明、ご報告いたします。

ア 地域史講座「小金井のあけぼの～旧石器時代の野川流域～」

令和4年10月15日(土)、22日(土)、29日(土)の3回講座を実施しました。非常に申込みが多く、定員に達するほどの人気で、参加者の延べ人数が65名ということで、非常に盛況でした。

イ 企画展「梶家の絵図」

令和4年11月1日から12月28日までの期間に開催しています。令和4年7月に、梶家所有の古文書類について、市史編さんや文化財の活用に関心を持って欲しい、とのご意向で、梶氏から市に寄託していただきました。寄託資料について、少しずつ調査を進めているところです。

絵図類が多く確認できたことから、調査成果の一部として絵図を初めて公開しています。

梶家については、小金井の江戸時代、または中世に遡る可能性のある家柄と推測されます。梶家周辺の地域は、平代坂遺跡のような中世の遺跡も残っており、また、近世の貴重な古文書も非常に豊富に残っていることから、小金井市史において重要なエリアと推察できます。

ウ 史跡めぐり「仙川の谷を見る歩く」

令和4年11月12日に小金井市域の北西部を中心に歩いていきます。テーマのとおり、仙川という自然河川がこの地域に流れておりまして、近年、この仙川周辺で興味深い文化財が発見されています。元々山王窪の築樋と言われている土木遺構に加えて、No.22遺跡の発掘調査の成果や、古い道をたどれるところもあり、多くの興味深い文化財や史跡が残っていますので、それらや仙川が作り出した谷地形を巡るといって、少し地形的な面も再意識しつつ面白さを伝えていきたいと考えております。

エ 文化財講演会「小金井桜の誕生」

令和4年11月25日（金）に実施します。副題は、「史蹟名勝天然記念物保存制度と近代の小金井桜」としています。元・小金井市史編さん調査員（近代部会）、渋沢史料館学芸員の清水祐介氏に解説いただきます。名勝小金井（サクラ）は、令和6年に国の名勝指定を受けてからちょうど100周年を迎えることから、それに向けて、改めて小金井桜の意義を見直す機会にするため、主に明治時代から大正時代にかけて、小金井桜にどういう著名人が関わって保存運動に発展するのか、そして最終的には名勝の指定に至ったのか、この辺りをとりあげていただきます。

本講演会を1つのきっかけとして、令和6年の周年事業に向けて少しずつ機運を盛り上げていければ、と考えております。

二宮会長 ありがとうございます。

今の報告について何かご質問・ご意見ございませんでしょうか？
よろしいでしょうか？

委員全員（特になし）

(2) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について

二宮会長 では、続きまして「(2) 玉川上水・小金井桜整備活用事業について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

高木主任（学芸員） ①令和4年度における整備事業の内容

整備が一定完了した区間においても、引き続き既存木（古木）の枯死が進んでいることから、これまでの整備事業の効果を高め、名勝景観の維持を図るために補植を実施します。苗木につきましても、歴史的背景に基づいたヤマザクラの苗木を10本植樹します。現在、小金井市域内の約3キロメートルの中には、541本の桜が存在しています。内訳は、古木と言われる、整備事業開始前から既に存在していた既存木が301本、そして、平成22年度以降、整備事業の中で植樹してきたものが240本あります。補足しますと、小金井桜全体、小平市、小金井市、西東京市、武蔵野市の4市にまたがる桜の本数は約900本です。即ち、小金井市域内に存在する桜の本数が圧倒的に多い、ということです。補植を行わないと、本数が減っていく、ということを表しています。今後は、「名勝小金井（サクラ）」の管理を担う東京都教育庁と調整を行い、令和4年11～12月頃までには、令和4年度に補植を行う箇所10箇所を決定していきます。

②生育状況調査について

平成22年度より整備事業の中で補植、植樹を行ってきた約240本の桜の生育状況調査を令和4年度に実施します。本調査は5年度毎に実施しているため、今回は5年度前の調査結果とのデータの比較も可能です。データを蓄積していくことで、桜の成長状況をしっかりと捉えることを目指しています。データとして残していくことで、後々本整備事業の事業効果や進捗状況を確認するための基礎データとなることから、本調査は、桜の生態に関する専門家の方に依頼し、実施します。

二宮会長 ただいまのご説明につきまして、ご質問・ご意見等がございましたら
お願いします。

伊藤委員 枯死した古木の存在していた場所と 同じ場所に補植を行う、という
理解でよろしいでしょうか？

高木主任(学芸員) 古木の近くに、「後継樹」という形で補植を行っている、というのが
実態です。フェンスの内側は人が立ち入ることがない空間であることから、
成長の過程で根を傷めることがない、という点や、成長した後も、
道路部分から一定の距離があるため、交通の支障になるおそれが少ない、
という点などのメリットが大きいことから、補植はそのような形で
行われています。

伊藤委員 ありがとうございます。

二宮会長 他にいかがでしょうか？

狐島委員 小金井市として、フェンスの内側に補植を行うことは問題ないの
でしょうか？フェンスの内側は東京都水道局管轄のエリア、と認識している
のですが。

高木主任(学芸員) 本整備事業は、東京都と小金井市が、相互の連携、役割分担の上で事
業を進めています。

二宮会長 他にはいかがでしょうか？

26本の候補地のうち10本を令和4年度に補植を行う、とのご説明
でしたが、今後ずっと続く予定なのでしょうか？

高木主任(学芸員) 生き物である以上、枯死してしまうものは当然出てきますし、補植も
継続的に行っていく必要があると考えており、今後も年度毎に10本程
度の補植は継続的に行っていく、というのが担当としての認識です。

二宮会長 他市と接している部分では、小金井市域とのギャップが大きい印象が
あります。ですので、本調査結果をまとめて、他市に情報提供するなど
することで、間接的に整備を促していくことができれば、と思います。

椎名委員 玉川上水沿いのフェンスの管理は東京都、小金井市どちらが所管して
いるのでしょうか？

高木主任(学芸員) 東京都、小金井市がそれぞれの範囲で管理がされています。

椎名委員 なぜこのような質問をさせていただいたのか説明させていただきま
すと、現状、補植が必要となっている既存木が約260本ある、という
ご説明を先ほどいただきましたが、即ち今後補植を行っていくものが約
260本あり、さらに、今後枯死してしまった既存木についても同様に
補植作業を行っていく必要がある。ということは、今後補植した苗木を
適切に管理していくためには、フェンスに一定の間隔で出入口を設置す
る必要性が出てくる、というのが課題であると考えています。

補植した苗木が成長するのは、4月の初め頃に開花し、その頃から6
月頃までが一番育つ期間です。その時期に降水量が少なかった場合は、
水やりの必要性も出てきますし、周辺の除草も当然に必要であり、そう
いった補植後のケアをどこまできちんと行うことができるか、という部
分が、当然生き物である以上絶対枯れない、ということはないですが、
枯死率をできる限り低く抑えるために大変重要となります。

都市公園であれば柵はないため、管理者にきちんとした管理を行う意思さえあればこのような問題は起きないのですが、玉川上水沿いは、柵が設置されていますので、五日市街道に面している、という観点では、水やりは散水車で行うことができますが、出入口がないと適切な管理はなかなか難しいので、長期的な視点に立てば、きちんと必要経費を予算化し、必要なフェンス改修工事を行っていく必要性もあると考えます。

今日明日の話ではないですが、フェンス外側部分の既存木は今後どんどん枯れていくことは確実ですので、フェンス内の補植した木の適切な管理の重要性はどんどん増してくると思います。

高木主任(学芸員) 維持、管理の観点で必要な措置もありますので、管理者にフェンスの状況を確認させていただきます。

椎名委員 また、成育状況調査を行う際に、時間的に厳しいとは考えますが、可能であれば開花した際の状態を、写真撮影を行っておくとよいと考えます。全体写真と定点写真、及び花や若芽等の部分写真があれば、芽の色や葉などすべて違いますので、良い比較ができると思います。

市の業務は単年度事業が原則ですので、時期的には厳しいと思いますが、逆に年度末から逆算して調査開始時期を決めていくことも視野に入れると良いと思います。

二宮会長 貴重な指摘ありがとうございます。
他にご意見、ご質問等ございますか？

委員全員 (特になし)

(3) 名勝小金井(サクラ)指定1000周年記念事業に向けて

二宮会長 では、続きまして「(3) 名勝小金井(サクラ)指定100周年記念事業に向けて」につきまして、事務局より説明をお願いします。

碓井文化財係長 それでは、名勝指定100周年記念事業につきまして、私の方からご説明させていただきます。

1924(大正13)年12月9日に国の名勝指定を受けた小金井桜は、2024(令和6)年に名勝指定100周年を迎えることから、市では、節目の年を彩る100周年記念式典事業を計画させていただいております。市といたしましては、本式典につきましては、公民連携、官民協働で企画、運営を行っていただければ、と考えさせていただいており、令和4年9月28日(水)に市内の代表的な事業者団体、奉仕団体の代表者の皆様にお集まりいただき、実行委員会の立ち上げに向けた説明会を開催させていただきましたことをご報告させていただきます。今後、令和5年1~2月頃を目途に実行委員会を立ち上げさせていただき、記念式典事業、並びに機運醸成のための関連事業の具体的な内容につきまして、検討を行っていく予定でございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

二宮会長 ありがとうございます。
ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等ございますか？

伊藤委員 大変重要な事業になるのかなと思います。本審議会としまして、

何かご協力できることがあれば、と思います。

(4) No. 2 2 遺跡現場見学会について

二宮会長 では、続きまして「(4) No. 2 2 遺跡現場見学会について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

碓井文化財係長 それではNo. 2 2 遺跡現場説明会につきまして、私の方からご報告させていただきます。

No. 2 2 遺跡につきましては、小金井市本町4丁目の本町住宅敷地内に存在する遺跡であり、東京都住宅供給公社による本町住宅の建替工事に際し、縄文時代及び江戸時代の遺構が発見されています。

本遺跡につきまして、遺跡の発掘作業を担当する東京都埋蔵文化財センター主催で、敷地管理者の東京都住宅供給公社及び東京都教育庁の協力の下、令和4年10月20日（木）、21日（金）の2日間、遺跡現場説明会を実施いたしましたので、その結果につきましてご報告させていただきます。

1日目の10月20日（木）には、近隣の第二小学校及び本町小学校の2校の6年生の皆さん、合わせて約170名に見学していただきました。東京都埋蔵文化財センターの現場担当者の説明による遺跡現場の見学のほか、現場で発掘された縄文式土器、石器の展示、及び他現場のものではありませんでしたが、市内で発掘された縄文式土器の破片を組合せ、当時の形を再現したものを展示し、実際に触れてもらいました。

2日目の10月21日（金）には、近隣住民の方を中心とした一般の方にご見学いただきました。広報につきましては、主催者の東京都埋蔵文化財センターによる、団地内及び近隣にお住まいの皆様へのチラシ配布によるお知らせをさせていただいたほか、市ホームページによる広報も行わせていただきました。平日昼間の開催ではございましたが、天候にも恵まれ、1日で324名の方にお越しいただくことができ、小金井市内にお住まいの皆様、郷土史に関する関心の高さを改めて裏づけることができたほか、終了間際にはランドセル姿の近隣の小学生の子どもたちにも多数来てもらうことができました。

内容につきましては、1日目と同様、東京都埋蔵文化財センターの現場担当者の説明による遺跡現場の見学、現場で発掘された縄文式土器、石器の展示、及び市内で発掘された縄文式土器の当時の形を再現したものの展示を行い、実際に土器に触れてもらいました。

なお、当日はご多忙の折、本審議会の二宮会長並びに太田委員が現場に足をお運びくださいました。お忙しい中、本当にありがとうございました。そして、本市では生涯学習課の職員数名も現場に立ち、参加者の皆様の誘導や受付、展示物の説明等に協力させていただきました。

市といたしましては、平日、しかも急遽の開催であったにも関わらず、多くの明日の小金井を担う子供たちを含め、2日間合計で約500名の方に貴重な経験をしていただくことができた、という点では一定の成果はあったものと考えています。

以上で説明を終わらせていただきます。

二宮会長

ありがとうございます。

ただいまのご説明につきまして、ご質問・ご意見等がございましたら
お願いします。

委員全員

(特になし)

二宮会長

よろしいでしょうか？

では、報告事項につきましては以上で終了とさせていただきます。

2 その他

二宮会長

続いて、その他について何かございますか？

関生涯学習課長

特にございません。

3 次回以降の会議日程

二宮会長

それでは、次回の会議日程につきまして、事務局より説明をお願いします。

碓井文化財係長

次回の会議日程でございますが、令和5年2月15日(水)とさせていただきます
いただければと思いますが、いかがでしょうか？

委員全員

(異議なし)

二宮会長

では、次回は令和5年2月15日(水)に会議を開催させていただければ、と思います。

それでは、本日の会議は、以上で終了させていただきます。